

入院中の高校生へ

埼玉県のオンライン学習支援が始まりました

埼玉県では、中学生までは、院内・訪問学級（新型コロナウイルス流行移行はオンライン授業）で、入院中も学習支援が受けられます。2021年4月以降は、県立の高校生について、オンライン授業が受けられるようになりました。

まず在籍校にご連絡ください。



埼玉県立がんセンター地域連携・相談支援センター
（平日9時～16時）
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地
電話：048-722-1111（代表）



43歳未満の患者さんへ

AYA世代のがん患者さんに対する**妊孕性温存療法**に国の**助成**制度が始まりました

AYA(Adolescence/Young Adult：思春期/若年成人

対象：

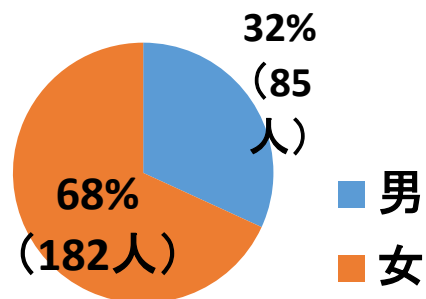
- ・「小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」で一定の要件を満たすがんの治療を受ける方（ご相談ください）
- ・長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん（ホルモン療法）等
- ・造血幹細胞移植を受ける方

対象となる治療	1回あたりの助成上限額
胚(受精卵)凍結に係る治療	35万円
未受精卵凍結に係る治療	20万円
卵巣組織凍結に係る治療	40万円
精子凍結に係る治療	2万5千円

詳しくは地域連携・相談支援センターにご相談ください。

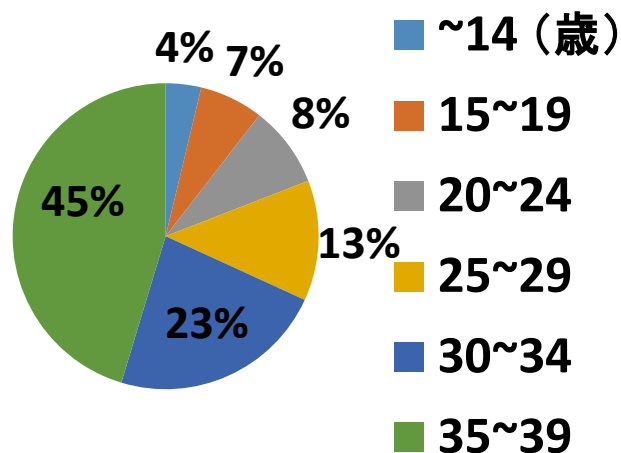
AYA世代ってどんな人？

性別割合



2020年度埼玉県立がんセンター調査

年齢別患者割合



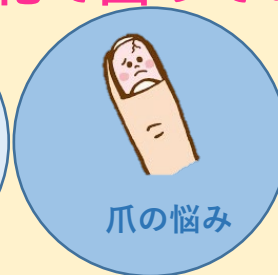
2020年度埼玉県立がんセンター調査

AYA患者さんの悩みは？

		現在治療中(治療中の悩み 年齢別 上位5)					調査期間: H26年6-11月	
		全体(n=213)	15~19歳(n=33)	20~24歳(n=22)	25~29歳(n=33)	30~39歳(n=119)		
1位	今後の自分の将来のこと	60.9%	今後の自分の将来のこと	63.6%	今後の自分の将来のこと	72.7%	仕事のこと	63.6%
2位	仕事のこと	44.0%	学業のこと	57.6%	仕事のこと	50.0%	今後の自分の将来のこと	63.6%
3位	経済的なこと	41.5%	体力の維持、または運動すること	45.5%	経済的なこと	45.5%	経済的なこと	48.5%
4位	診断・治療のこと	36.2%	診断・治療のこと	42.4%	診断・治療のこと	40.9%	不妊治療や生殖機能に関する問題	48.5%
5位	不妊治療や生殖機能に関する問題	35.3%	後遺症・合併症のこと	36.4%	後遺症・合併症のこと	31.8%	診断・治療のこと	39.4%

国立がん研究センター調査(200人)

抗がん剤による
外見の変化で困っていませんか？



その悩み、
看護外来・薬剤師外来にご相談ください